

第 48・49 回東京消化器内視鏡看護勉強会レポート

テーマ：用手圧迫を学ぼう

日 時：平成 31 年 1 月 19 日（土） 3 月 24 日（日） 14：00～16：00

会 場：NTT 東日本関東病院

大腸の用手圧迫は、これまでの勉強会のアンケート結果でも、毎回上位にあがる人気のテーマです。今回、多くの方からご参加の希望があり、2 回に分けて開催致しました。講師は、本会に何度もご協力いただいている、NTT 東日本関東病院 消化器内科 村元 喬先生です。

はじめに座学で、大腸内視鏡の挿入法の種類、観察の手順、用手圧迫の意味や方法について学びました。

たくさんの動画を供覧しながら、普段、医師がなにを見て、なにを考えて検査を行っているか、用手圧迫の重要性など知ることができました。参加者の皆さんも熱心にメモを取り、体格のいい患者さんの用手圧迫の方法や、どのように介助を行ったらいかなど、質問が上がりました。



講義の後は、参加者を 2 つのグループに分け、用手圧迫のデモンストレーションと情報交換会を行いました。デモンストレーションは、内視鏡室でコロンモデルを使って、村元先生がより実践的な解説をしてくださいました。ここでも、参加者から自施設で困っている介助方法についてたくさんの質問があり、先生の説明に、皆さん真剣な表情で頷いていました。

情報交換会では、参加者同士で、大腸内視鏡検査の前処置やリカバリーの運用など実臨床で困っていることについて意見交換を行いました。他施設の方と交流を図ることは、自施設の課題が解決したり、同じ悩みに共感したりという貴重な場であることを感じました。アンケートでは、参加者全員から満足だったという結果をいただき、大盛況で終えることができました。

収容人数の関係で、今回参加をお断りさせていただいた方々には、ご迷惑をおかけしました。今後も、皆さんにとって役立つ会を目指して参ります。 文責：青木